

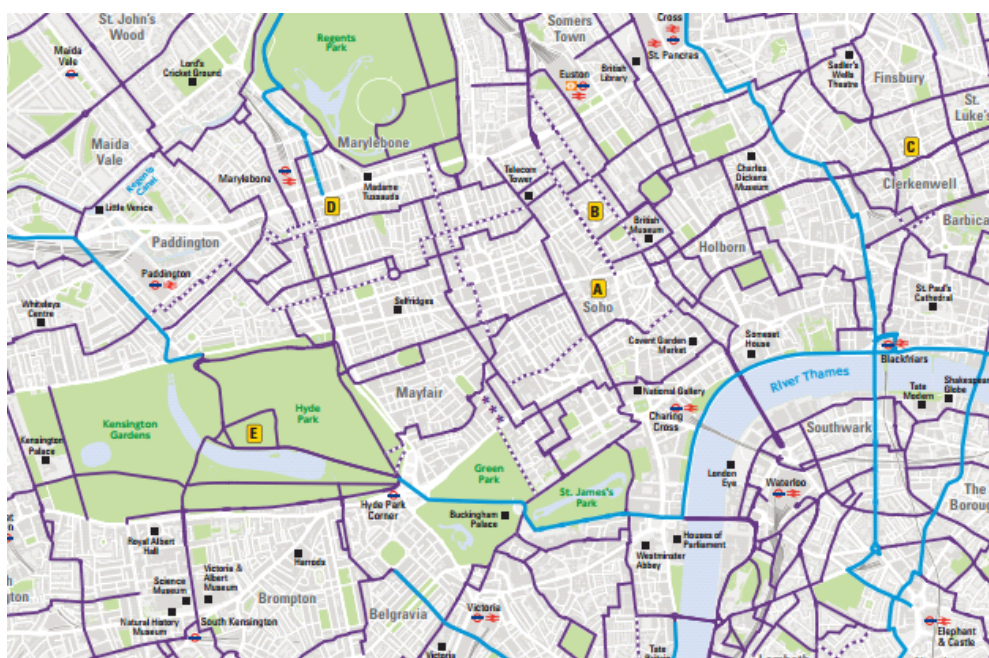
ロンドンの大気汚染削減策の現状 ③

サイクリング・グリッド（自転車専用及び自転車・車両併用道路網）の整備

今年6月、ロンドン議会でジョンソン市長が発表した「ロンドン市長のロンドンに於けるサイクリングの戦略（Mayor's Vision for Cycling in London）」と題する戦略文書は、ロンドンでサイクリングの大きな変化を起こす計画として反響を呼びました。

それは、ロンドンでのサイクリングに対する市長のビジョンが明確に表されており、サイクリングを既存のロンドンの輸送ネットワークに完全に融和させるために、鍵となる基盤情報と計画を具体的に説明していることです。この10年間、ロンドンで自転車の利用が大きく増えて来ており、その需要増に支えられて作られた様々な方法が記述されている戦略文書でもあります。

この中で最も重要なことは、サイクリングルートネットワークの確定、つまりサイクリング・グリッド（下図はロンドン中心部のグリッドマップ）の作成で、それはサイクリングの安全性を確保することとルートの質の改善が不可欠であることです。尚、サイクリング・グリッド整備の推進母体はロンドン交通局（TfL）となっています。



ロンドン中心部のサイクリング・グリッド 出所:ロンドン交通局 (TfL)

表示: クワエトウエイ サイクルスーパーハイウェイ

- * ロンドン市街地を安全に自転車が走行できるサイクリング・グリッドの確定が必要で、一部ルートで関係自治体との調整が残っているところもありますが、ほぼ出来上がっています。このサイクリング・グリッドは、朝夕の通勤者や日中のビジネスマンが比較的速いスピードで走行する**サイクルスーパーハイウェイ Cycle Superhighways (CS)**と市民が日常生活で平穩に使用する、裏通りに設定された**クワエトウェイ Quietways (Q)**の二種類のルートが表示されています。
- * 今後造られるサイクルスーパーハイウェイは使い勝手が良くより高いデザイン性を持った近未来でも十分に通用するものであることとなっています。
- * サイクリング・グリッドはサイクルルートのナビゲーションが簡単にできる様に、既存の道路網を利用しており、サイクルルートの標識はロンドン全域で統一された表示方法が使われています。

ロンドン郊外の自治体でも、道路表示の明確化や交差点の通行システムの変更等でサイクリングルートの特定がなされ、サイクリング・グリッドが完了した自治体もあります。その結果、サイクリング旅行者が増えており自転車王国と言われているオランダほどではないが、ミニオランダ化して来ています。

サイクリストが増加することにより、サイクリングの安全への配慮は以下の施策を進めるにあつたのキーファクターであります。

- 既存道路や交差点のレイアウトの変更
- 大型トラックによる自転車の巻き込まれ防止策
- サイクルルートと並行する車両のスピード制限

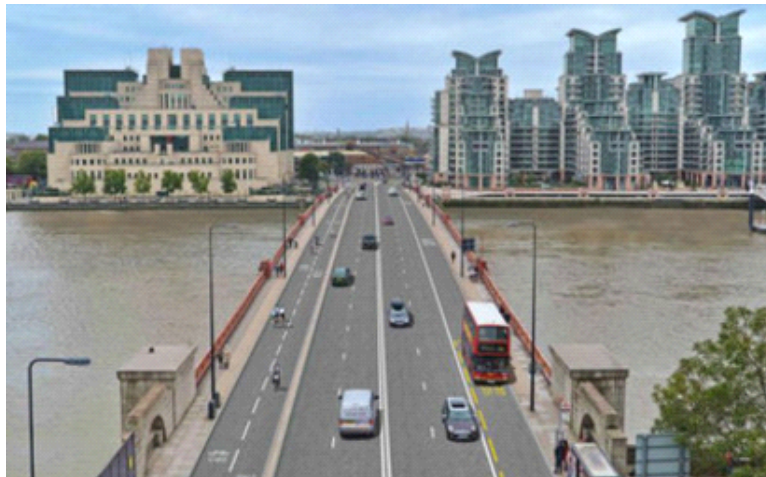
以下、主要サイクルスーパーハイウェイの完成写真と完成予想図をご覧ください。(出所 :TfL)



CS1 号線の完成予想図



CS 南北線の完成予想図



テムズ川に架かるボクゾール橋の完成済みの CS5 号線



テムズ川沿いの CS 東西線の完成予想図



ロンドンの裏通りに設定されたクワエトウェイ

ロンドンのレンタル自転車事情

ロンドン交通局 (TfL) が音頭を取って、大手 B 銀行がスポンサーの 10 カラーの青色自転車でスタートしたロンドンのレンタル自転車事業は順調に推移し、市民や旅行者に受け入れられ 5 年目を迎えています。

今年の 4 月に、大手 B 銀行に替わり大手 S 銀行がスポンサーとなり S 銀行の 10 カラーの赤色自転車に替わりました。現在では、11,500 台の自転車を保有し、748 ケ所の無人のサイクルステーションに配置されています。サイクルステーションでのレンタル手続きは簡単で、最初の 30 分間は無料、これを過ぎますと 1 時間 £2.00 の使用量がかかります。返却はどこのサイクルステーションでも出来るので便利です。支払いは現金でもクレジットカードでもデビットカードでも可能です。

ロンドン交通局の情報では、今年の 7 月 30 日に 75,000 件の貸し出しがあり一日の貸し出し件数としては最高になりました。2014 年の貸し出し件数は前年の 22.5% アップとなり、開業時と比べると 230% アップとなったそうです。また、2014 年のロンドン市内への一日の平均自転車通勤者数は 153,000 人で、こちらも年々確実に増加しておりロンドンのサイクリング・グリッドの完成で自転車への関心が一層高まるものと思われま

す。ジョンソン市長が次々に打ち出す大気汚染削減策の思い切った施策は、ロンドン全域のサイクリング・グリッドが完成する 2018 年頃には、必然的にサイクリストが増え、その分 CO2 や NO2、PM の削減に貢献し、環境に優しくロンドン市民へ健康増進と言うかけがえのないプレゼントを与え、ジョンソン市長が目指している環境先進メガ都市になる一翼を担う施策であることは間違いないと思います。ロンドンのサイクリングへの施策が、東京でも進めている自転車回帰への様々な施策づくりの参考になることを願っています。ちなみにジョンソン市長は熱心な自転車愛好家で、通勤にはロンドン市内の自宅からヘルメット姿で愛用の自転車に跨り、ロンドン市庁舎に通っています。(了)